

### 3. 過活動膀胱治療薬による口内乾燥に対する白虎加人参湯の有用性の検討

医療法人 石井クリニック（埼玉県さいたま市浦和区）  
石井 泰憲

切迫性尿失禁を含む過活動膀胱にはバップフォー、ポラキスの他に、ベリケア、デトルシトルなど（抗コリン剤）が開発されてきて使用されている。しかし、副作用として、口内乾燥の報告が25%～45%があり、服用の継続ができないことが少なくない。このため、過活動膀胱治療薬で口内乾燥を示した12症例に、白虎加人参湯エキス7.5g（分3）併用し効果を検討した。2例は苦味や顆粒のため服用できず、2例は無効であったが、8例（66.7%）は口内乾燥が改善して、有効であった。白虎加人参湯は、実証で効果があり、唾液の分泌量を増加させ、過活動膀胱治療薬による口内乾燥にも有効であった。問題点は漢方薬で苦味のある細粒剤で飲みにくいことであるが、有用な薬剤と考えられた。

### 4. 当院における補中益気湯50例の最近の使用経験およびOABに対する漢方製剤の使用についての考察

村上クリニック（静岡県静岡市）  
村上 泰秀

補中益気湯は代表的な補気剤であり医王湯ともよばれ各科で汎用されているが、泌尿器科においても主として尿失禁、遊走腎症、慢性腎不全などに用いられており、演者も以前その効果について報告した。今回は最近当院で補中益気湯を使用し、効果を得て投薬を続けている50例について報告する。50例のうち女性38例、男性12例で年齢は女性53歳から93歳で平均年齢は77歳、男性は55歳から91歳で平均年齢は72歳であり女性高齢者が多い。補中益気湯は1日7.5g単独投与が23例で、他は、他の漢方製剤や西洋薬との併用であり本剤単独投与でも充分効果が認められる例が多いことが推察される。投与症例は女性の膀胱下垂、神経因性膀胱による尿失禁や頻尿に対する例が最も多かった。その他の例は腎機能障害、男性の尿失禁とEDの合併例、慢性腎不全、内臓下垂症に伴う諸症状であった。また泌尿器科以外の全身状態の改善がみられる例も多かったのは漢方方剤の特徴であろう。50例以外の脱落例においては、本剤との因果関係ははっきりしないが投与期間中に血圧上昇を訴えた例があり、本剤投与中は充分血圧に注意する必要があると思われる。また本報告例では本剤とOABに対する新薬との併用例も2例あり、OABに対して更年期障害、冷え性、中枢性の排尿障害などに用いる他の漢方製剤の効果などに対しても若干の考察を加える。